

読んでみよう 解いてみよう  
**せん太のワークシート**

真庭市地域おこし協力隊の2人が、ユニークなごみ拾い活動に取り組んでいます。記事を読み質問に答えましょう。

# ごみ拾い全大字踏破へ

**真庭の地域おこし協力隊2人**

真庭市地域おこし協力隊の2人が、ごみを拾いながら市内全142の大字を踏破する活動「大字探検隊」に取り組んでいる。ごみ拾いの写真などを投稿できる専用のSNS（会員制交流サイト）アプリ・ピリカを活用し、市民参加を促す市の事業「真庭ごみ拾いチャレンジ」のPRの一環。（小畑誠）

## 海流出減目標 同行者募る

2人は西本浩史さんの完了を目指す。環境で活動。住宅地や旭川沿（37）と小野智行さん 保護のため現地への移（30）。「ごみ拾いリ 動手段は可能な限り公 歩き、たばこの吸い殻 世地域の8大字・計る。 10キで行ったのを皮 落合地域で9月20日 切りに月2、3回ペー に行った4回目は、仲 力に投稿するため、活動 スで活動し、本年度末 間の隊員を含む4人 の様子や稲刈りを控えた



田園風景を写真に収めた。ごみ拾いチャレンジは、国内外の「同志」とSNSでつながり、励まし合うことで地域に活動の輪を広げ、市内の旭川から出る海ごみを減らすのが目的。2人は「身近なごみ問題に関心を持つ人が増え、行動に移してもらえれば」と話す。探検隊の同行希望者は市環境課（0867④1113）。

ごみを拾いながら歩く（右から）西本、小野の両隊員

※大字 市町村区名の後についている地域の名前

7日付、山陽新聞作州ワイド版

Q1 ★★★★★

協力隊の2人は、ただごみ拾いをするだけでなく、もう一つの目標を掲げています。第1段落、見出しを読み答えましょう。

Q2 ★★★★★

協力隊の2人は、なぜこのような活動をしているのでしょうか。その理由を、第4段落から読み取りましょう。

Q3 ★★★★★

この記事で取り上げられている取り組みは、なるべく多くの人を楽しんでごみ拾いができる「工夫」と言えます。ごみ拾いを楽しくする工夫を考えてみましょう。

★の数は問題の難易度を表しています。

まちや海がきれいになって  
 地域の人とも仲良くなれそう！

